

米国の科学アカデミー発:8/8NHK ニュース

ken.wa.fu@ezweb.ne.jp <ken.wa.fu@ezweb.ne.jp>

2018 年 8 月 10 日

16:02

To: matsuday2015@gmail.com

【残る絶望的虚無感】

今すべき必要な事は世の中を煽り不安にするのでなく、
『確実に解消できる, 解決術策を示す』のが研究者, 権威学者の役割のはずなのに。
※小手先技術では気候変動を抑制できない!

News: 研究者グループが警告! 温暖化に早急な対策を 2018 年 8 月 8 日 5 時 50 分 ヨーロッパなどの科学者のグループが地球温暖化についての研究結果を発表し、2020 年以降の温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」の目標どおりに温室効果ガスの排出量を減らしても温暖化を止められないおそれがあり、早急な対策が必要だと警告! この地球温暖化の研究結果はスウェーデンやデンマーク、それにオーストラリアなどの科学者のグループがまとめ、6日、「アメリカ科学アカデミー」の機関誌に発表しました。

森林が枯れたりする負のスパイラル現象が次々に進んでさらに急激な温暖化を招き、海面が今より 10 メートルから 60 メートル高くなるおそれがあるとしています。

地球は温室と化し、生物がすめなくなる」と警告しています。このため科学者のグループは、森林を増やすなどといった従来の対策に加え、大気中の二酸化炭素を地下に埋める技術を使うなど、早急な対策が必要だと呼びかけています。

--規模は地球俯瞰対応--

諺◆覆水、盆に帰らず

▼地中へ何万地点?から固化?.液化?CO2 を埋める閉じ込めるなんてトンでもない本気度皆無の技術(何時までに解消?誰が何処で押し込む?無限に出来る?)ですね。埋め込み過程にも CO2 放出?

▼アマゾン,他に植林(幼木)しても知れた CO2 消費、伐採(パルプ原料,他)のほうが先行、それ以上に温暖化で山林原野,森林火災の頻発で(CO2 の膨大放散&CO2 の吸収固定機能失う)

以下、

◇覆水を盆に戻す技術

◎真のカーボンオフセット(カーボンニュートラル)は《二価鉄 Fe²⁺を地球の水域水圏中で発生の技術》を ⇒⇒⇒

◇海も空も地球はひとつ

◇水域水圏に溶け込む二酸化炭素を化学固定『炭酸鉄』し沈殿.....

◇水域水圏の『光合成生物』に必要不可欠の必須ミネラルを補給し活性増殖して消費・酸素を発生
CO₂↓+光+水⇒O₂↑+α

◇発生『酸素』をオゾン化してオゾン層修復に...

◇《光合成》で水域水圏の溶存酸素を増やして水棲動物植物を活性化し CO₂ を生物固定
CaCO₃,他.....

◇ヘドロ等中の微生物を活性増殖し堆積底泥有機物を分解して循環、生物多様性に.....

◇《二価鉄 Fe²⁺》の機能(科学力&化学力)full 活用、その他多岐！

◇水域水圏への二価鉄補給と CO₂ 固定の有益作用は陸上にも波及.....

※この NEWS は人類が造り出す化学物質、CO₂ 二酸化炭素,他での人類災と気付かず。が-(糠に釘、暖簾に腕押し、的な対応策ばかり)。

◎解決策は ⇒ 地球に生命誕生の原点から維持の摂理,原理を探る！べき

“40 年寝太郎”

杉本幹生 拝